

差別・選別・レッドパージ攻撃弾劾



動労千葉

87. 2. 18

No. 2480

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

12名の仲間を守りきり

闘いぬくぞい

国鉄当局は、ついに差別・選別・レッドパージ攻撃を強行してきた。

動労千葉は二月十六日、全職場で「差別・選別・レッドパージ攻撃に対する抗議と糾弾」および「採用後の具体的勤務地、職名、賃金等に対する解明」を求めて、断固たる闘いを展開した。闘いの過程で明らかとなった十二名への不当な攻撃に対する怒りは全職場を席巻した。

- ① 全員を希望にもとづき承継法人へ採用すること、
- ② 今後、勤務箇所、職種、賃金等についての具体的内容を明らかにすること、
- ③ 勤務地、職種については本人の希望を尊重し、団体交渉で解決すること、

を申し入れるとともに、次の通り抗議声明を発した。
われわれは、十二名の仲間を裁判闘争も含むあらゆる戦術を駆使した闘いによって守り抜くとともに、「新会社」におけるあらゆる不当な攻撃をはね返す強固な組織体制を確立しなければならぬ。この怒りをけつして忘れることなく、十二名の仲間を守り抜き、勝利する反撃に全職場から決起しよう。

抗議声明

二月十六日、国鉄当局は、全職場で承継法人への採用通告を開始した。

動労千葉は、全支部で断固たる追及・抗議の闘いを展開した。

われわれは、動労千葉十二名をはじめとする「一〇〇名」の国鉄労働者に対する不当差別・選別・レッドパージ攻撃に対して、腹の底から抗議するとともに、この攻撃を断固粉碎するまで、あらゆる戦術を駆使して闘い抜くことを明らかにする。

分割・民営化が「国鉄問題」の何の解決ともならないことは、今日、動労千葉をはじめとする国鉄労働者の勇気ある闘いによって鮮明につき出されている。

日帝・中曽根体制の真の狙いであった国鉄労働運動解体攻撃は、「62・4・1」時点での「一企業一組合（産報化）」の破産をつきつけられている。

中曽根・杉浦・松崎は、この国鉄労働者の闘いに対する階級的憎悪をこめた報復的反動攻撃として、この攻撃を強行したのだ。

動労千葉の二波にわたるストライキをはじめとする闘いが、まさに正鵠をついた闘いであるが故に、「大会に参加した」などという理由をもって大量の解雇、停職攻撃を強行し、さらに、差別・選別・レッドパージの対象とするこの卑劣極まる攻撃をどうして許せようか。

十万人首切りによって「定員割れ」になった上で、なお、闘う労働者を排除しようとする日帝・中曽根体制を打倒せよ。

「全員雇用」による組織動揺を、「二一万五千人の枠を削り込んでも不良職員を排除しろ」という、反階級的資本への哀訴をもって切り抜けようとする動労革マル・鉄労・鉄道労連を、怒りの決起によって解体・一掃せよ。

鉄道労連と政府・当局一体となった、「十月一日を期しての一企業一組合」攻撃を粉碎する闘う労働者の決起と大同団結をかちとろう。

動労千葉は、動労総連合をはじめ全国の闘う仲間とともに、十二名の仲間を守り抜き、配転攻撃をはじめとする組織破壊攻撃を許さず断固闘い抜く決意である。右、声明する。

一九八七年二月十六日 日日

国鉄千葉動力車労働組合